



【2026 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

15	④安静立位姿勢の評価、重心動揺測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習し、成果をまとめる。	[担当] 石井	PBL、グループワーク		0
16	④安静立位姿勢の評価、重心動揺測定について学び、測定方法を理解する。データ解析方法を学習し、成果をまとめる。	[担当] 石井	PBL、グループワーク		0
17	⑤バランス反応の評価、歩行観察から歩行周期の算出・歩行時の関節運動を学習し、姿勢制御と正常歩行を理解する。	[担当] 石井	講義、実習		0
18	⑤バランス反応の評価、歩行観察から歩行周期の算出・歩行時の関節運動を学習し、姿勢制御と正常歩行を理解する。	[担当] 石井	講義、実習		0
19	⑤バランス反応の評価、歩行観察から歩行周期の算出・歩行時の関節運動を学習し、姿勢制御と正常歩行を理解し、成果をまとめる。	[担当] 石井	PBL、グループワーク		0
20	⑤バランス反応の評価、歩行観察から歩行周期の算出・歩行時の関節運動を学習し、姿勢制御と正常歩行を理解し、成果をまとめる。	[担当] 石井	PBL、グループワーク		0
21	実習課題①-⑤の成果発表会を行う。	[担当] 石井、元山	プレゼンテーション		0
22	実習課題①-⑤の成果発表会を行う。	[担当] 石井、元山	プレゼンテーション		0
23	総括	[担当] 石井	講義		0
試	定期試験				

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	30	20	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	30	5	5	0	0	40
	思考・推論・創造する力	20	10	5	0	0	35
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	5	5	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	10	5	0	0	15

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法	
試験	①	✓	筆記による定期試験（記述式、穴埋め式、選択式など）を実施して評価する（50%）。	必要に応じて試験の添削、開示を行う。
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①	✓	各実習課題でレポートを課す。提出されたレポートを採点し、成績に反映する（30%）。レポートは必要に応じて再提出してもらうことがある。レポート内容、採点基準は講義時に提示する。	必要に応じて解説を行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			

【2026 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

		評価のポイント		評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標				
成果発表	①	✓		各実習課題①-⑤について発表準備を行い、グループごとにスライド発表を行う。発表された内容を採点し、成績に反映する（20%）。採点基準は講義時に提示する。	必要に応じてフィードバック、解説を行う。
	②	✓			
	③	✓			
	④	✓			
	⑤	✓			
	⑥				
ポートフォリオ	①				
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	⑥				
その他	①				
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	⑥				
備 考					
他 担 当 教 員	元山 美緒				
教員の実務経験	全ての教員が理学療法士として5年以上の臨床経験を有する。				
実践的授業の内容	ヒトの生体の仕組みの基礎を理解するとともに、臨床現場において必要な運動機能評価を実践できるように説明する。				
そ の 他	<p><b>実技授業：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>必ず測定がしやすい服装で受講し、パソコンを持参すること。</li> </ul> <p><b>授業時のフィードバック、意見交換：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フィードバックは授業時間内で実施する。</li> <li>意見交換の機会は授業時間内およびオフィスアワー内に実施する。</li> </ul> <p><b>注意事項：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受講態度に問題がある場合、注意しても守れない学生は退室してもらう。</li> <li>大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。問題がある場合は対面授業の参加は認めない。</li> <li>シラバスの内容は今後の感染症の状況など社会情勢や、授業の進行状況等を考慮して一部修正することがある。</li> <li>講義回に入れ替えなど変更する場合があるので、授業内または Teams の連絡に注意すること。</li> <li>学生の理解度などに応じて授業計画を変更することがある。</li> </ul>				